

2024年10月3日（木）～4日（金） 那須姥ヶ平紅葉、三斗小屋温泉＆茶臼岳（1915m）

3日の夜は、煙草屋旅館の屋根を激しくたたくほどの強い雨が降っていました。これでは下山するにも大変だと思っていましたが、明け方になつたら嘘のように雨はやんでくれました。

しかし霧は深く、風もあるようでした。昨日のうちに茶臼岳に登っていたのは大正解でした。少々足元は悪いかもしれません。スケジュール通り下山することにしました。

2日目（10月4日金曜日） 霧雨のち曇り； 三斗小屋温泉より下山、那須ハートランドで入浴

堀さんは何度が夜中に起きてトイレに立っていましたが、雄さんと吉松はしぶとく朝方まで布団に潜り込んで寝ていた。（腸を手術してから、呑みすぎると直ぐに下痢をするので困っています（堀さん 談）。



5時半近くになって、やっと明るくなってきた。

（良く見えないが、写真は雄さんの寝姿）



6時過ぎになると、辺りはすっかり明るくなった。

雲は厚く風もあったが、夜来の雨は上がってくれていて、ホッとした。



小屋周辺で見られる数少ない紅葉でも、我々にとっては嬉しい。

霧は煙草屋旅館の玄関先まで流れ込んでいた。

玄関わきの青い箱の中では、熱い温泉を溜めて朝食用の温泉卵を作っている。



宿では朝夕の食事の準備が出来ると、主人が太鼓を叩いて知らせてくれる。

6時30分に太鼓の大きな音が響き渡った。

朝食の膳には^{くだん}件の温泉卵が乗っていた。



食堂は随分暖かい。

部屋の壁に取り付けられているパイプの中に、暑い温泉を流しているのだそうだ。



計画通り、7時30分に出発





出発準備を整えて意気揚々と歩きだしたら、宿の従業員が追いかけて来た。

「もしもししそこの人、カメラをお忘れではないですか？」

「あ、俺のだ！」

(H 氏の忘れ物症候群は、未だ病勢に衰えが無いようであった。)

三斗小屋温泉にはかつて5軒の旅館があって、関東と会津を行き交う人々が利用した。

これから我々が歩く下山道は、木材や茶臼岳から採取される硫黄などを背負って牛が歩いた道でもある。



沼原（ぬまっぱら）分岐を過ぎて10分も歩くと、「延命水」の飲み場がある。



「延命水」と銘板が架けてあり、カップも置いてあった。

山の水は冷たくて、美味しい！

昔の旅人も喉を潤しただろうし、「牛飲馬食」というくらいだから、牛も盛んにこの水を飲んだことだろう。



当初計画の茶臼岳登山は昨日済ませた。時間は十分ある。花や紅葉に足を止めながらのんびりと下った。



【閉話休題】

このところ雨が多かった所為か、大小の茸に出会った。
花や、紅葉が少なかったので、今回は茸をたんと楽しむのも一興かと・・・



那須岳避難小屋へ向けてのんびり歩いていたら、若い女性二人に追い抜かれた。
大黒屋泊まりの登山者であった。大黒屋の登山者も少なくて、8人であったことを教えてくれた。



8時45分

那須岳避難小屋に到着

緊急時に利用する無人の避難小屋だ。
収容人数は20人。
トイレなし、延命水が水場。

ここからは、女性2人を追うように峰の茶屋跡へ向かった。





9時10分

峰の茶屋跡で先行していた女性2人に再会して、暫し歓談
彼女たちは姉妹で、父親は堀さんと同じ誕生日だとのこと。
彼女たちも紅葉目当てだったらしいが、当てが外れて残念そうであった。

2人は、そのまま下山道を下りて行った。

我々は避難小屋に入って大休止をとることにした。天気予報通り風は強くなり、霧も深くなってきた。



9時20分過ぎ、小屋を出発

茶臼岳の巻き道を利用して、牛ヶ首経由で那須ロープウェイ山頂駅へ向かった。

霧は濃くなり、時々霧雨状態になって服にまとわりついた。所によっては、強い風が吹き抜けて行く。



記録写真も霧でうまく撮れず、只管（ひたすら）足をくじかないように歩いた。

風も強いこの霧の中でも茶臼岳に登ってくる猛者がいて、時々出くわすからすごい。



10時30分

那須ロープウェイ山頂駅に到着
まとわりついた霧の水滴を拭った。



10時40分発のゴンドラに乗り込んだ。勿論、ガラガラだ。



ロープウェイ山麓駅からは、11時13分発の路線バスで「お菓子の城」バス停に向かった。



こちらも、車内は貸し切り状態



11時58分、「お菓子の城」バス停下車

日帰り温泉「那須ハートランド」で汗を流した。勿論、風呂も、野天風呂もサウナも貸し切り状態であった。



【貸し切り状態はいい塩梅だと吉松は・・・】

広い湯船で泳ごうとしたら、壁に「泳いではいけません」と書いてあった。

自分と同じようなことを考えるバカな客もいるものだと、泳ぐのは諦めた。

さて、ゆっくりと湯から出て湯上りに生ビールで一杯と思ったら、平日の「那須ハートランド」では食堂は休みとのことであった。職員に教えられて、隣の建物の「お菓子の城」のレストランで飲むことにした。

* 「お菓子の城」には初めて入った。

建物の中には大きなお菓子工場があって、硝子戸越しに見学が出来る。

「御用邸の月」や「パイ」を作っている。



待ちに待った生ビールで乾杯！

昼食は、カツ丼、カツカレー、塩タンメンに舌鼓を打った。



13時58分発の那須塩原行き路線バスを待った。

今回の登山行は紅葉と三斗小屋温泉三昧が目的でしたが、かなり紅葉には早かったようです。その代わり、温泉だけは貸し切りで好きなだけ堪能することができました。

【さて、最後に・・・】

路線バスは、14時40分に那須塩原駅に着きました。

予定よりもかなり早い新幹線で東京に戻るつもりでいましたが・・・

*雄さんは、体力が残っているのでこのまま紅葉を求めて栗駒岳に登つてくることになりました。

今日は古川のビジネスホテルに泊まって、明日は栗駒山の紅葉に囲まれているはずです。

(那須塩原駅で雄さんとお別れ)



*堀さんと吉松は、新幹線「やまびこ号」で東京へ戻りました。

明るいうちに帰宅できて、吉松は楽しい思い出に浸りながら晩酌を楽しみました。